

研究視察計画

1. 目的
 - ①SEL という手法を用いた授業の構成やその進め方について授業を拝見し、明海中学校の職員と共有できるようにする。
 - ②年間のカリキュラムにおいて、各学年の授業実施計画を拝見させていただき、各授業の目的と時期との関連性や時数、短学活の活用法、時間の確保の工夫について学ぶ。
 - ③SEL に精通する福岡大学教授やその関連の方々とのネットワークを築く。
 - ④SEL の実践の積み重ねから、成果と課題を参考に、明海中学校のスタンダードを構築するための一助とする。

2. 日時 令和7年9月23日（火）～9月25日（木）

3. 訪問場所 〒735-0024 広島県安芸郡付中町緑が丘3番18号
広島県府中町立付中緑が丘中学校 TEL 082-283-4701

4. ねらい

1. SEL の年間の授業回数、内容と適切な実施時期との関連を学ぶ
2. 具体的な実践の様子を参観し、授業者の返し方や表情、効果的な授業方法の工夫を学ぶ
3. 授業を受けている生徒の発言や行動の様子をとらえ、場面に対する対応の手法を学ぶ
4. 福岡教育大学名誉教授 小泉礼三先生や10年間の実績がある訪問先の学校とのパイプの構築
5. これまで積み上げてこられた実践の記録や生徒の変容、成果と課題をつかむ
6. SEL に関する生徒の実践につながる掲示物や手法を学ぶ
7. 年間カリキュラムへの組み込み方やその考え方について学ぶ

5. SEL を簡潔にまとめると

アメリカの学校では、以前は教科の指導しか行っていなかった。
→人間関係力や社会に通用する人間力が育たず、課題となった。(社会性)
→社会性を育てるための策を考えた。
→SST やアンガーマネジメント、コミュニケーション力、認知力、非認知力などの成長を促すための授業を行った。
→それぞれをバラバラに行うのではなく、体系的にまとめよう。
→まとめて一つのプログラムにしたものを SEL とし、社会性を育てる目的として実践していこう。

日本でも SST やアンガーマネジメント、コミュニケーション力、構成的グループエンカウンターなど、先生方が行っているものを社会性を育てる学習のプログラムとしてわかりやすく1つにまとめたものが SEL です。

ただ、学活の時間だけでこのプログラムを行うと、ほかの活動の時間が削減されてしまう、なかなか社会性を高める学習の時間をとるのが難しいなど、課題が多いため、その解決法や時間の有効な組み方等のノウハウを先進校で学んできます。

以降、下は参考資料です。

5. SEL の歴史について

最近のアメリカ教育のメジャートレンド「SEL」について解説

現在アメリカの教育現場ではソーシャル・エモーショナル・ラーニング(social emotional learning)が大きなトレンドの一つになっています。頭文字をとって「SEL」と略称で呼ばれています。直訳するならば、「社会性や感情の学習」と言うことになるでしょうか。

SEL とは、他の人々とうまくやっていったり、自分や相手の感情を理解することによって、社会の中で適切に行動できるための知識やスキルを学習していくことを指します。

特にここ数年で、SEL のためのプログラムを様々な形で意識的に導入していく取り組みが、**公立私立を問わず、アメリカの学校や学区に急速に広がってきました。**そうした流れの中で SEL は教育の最重要テーマの一つになったと言っても過言ではないでしょう。

なぜ SEL が広まっているのか？

この SEL のトレンドは、1960 年代に行われたアメリカの Yale 大学のプロジェクトがきっかけであると言われてしています。

まずは、Yale 大学のお膝元である New Haven にあった**低所得の有色人種学区の学校において、生徒間の関係性や学校での安全で健全な環境づくりに主眼を置いたプログラムが導入された**ということです。

そのプログラムは大成功を収めました。まず**プロジェクトの直接の目的であった、生徒の社会性や感情に関する能力の学習効果が確認**されました。生徒の出席率が大幅に向上したり、その他のクラス内や課外活動での**生徒指導の問題が激減**したりしました。

それだけではありません。さらに**驚くべきは、それと同時に、生徒の学力も大幅に上がった**という結果が**わかりました。**生徒の社会性や感情をサポートすることで、学力の向上につながることもわかったのも大きな成果です。

そうした SEL の歴史を背景に、これまで様々な SEL の枠組みが考案されてきました。この中でもアメリカの SEL を 90 年代から牽引してきたのが Collaborative for Academic, Social and Emotional Learning (CASEL) です。

これから CASEL の枠組みを簡単にご紹介してみたいと思います。詳しくは <https://casel.org/what-is-sel/> のウェブサイトを参照いただくと良いかと思います。(文章は英語です)

SEL は、他の人々とうまくやっていったり、自分や相手の感情を理解することによって、社会の中で適切に行動できるための知識やスキルを学習することです。そうした**社会性や感情の学習をエビデンスに裏付けされた方法をもって、システムティックで意識的な形で学校のプログラムに導入していく**というのが **SEL のトレンドの焦点**になります。

CASEL の枠組みだと、**SEL が対象にする社会性や感情の能力が5種類**ほどあります。

- 自分を理解する力 (self-awareness) : 自信をもって成長マインドセットで、自分の強みや弱みを理解することができる。
- 自分で自分を統制する力 (self-management) : ストレスとうまく付き合っ、自分の衝動を適切にコントロールし、自分で目標を設定して到達していくために自分を動機づけることができる。
- 他者を理解する力 (social awareness) : 多様な背景や文化を有する人たちの視点を理解して、共感したり思いやりったりすることができる。
- 他者とうまくやっていく力 (relationship skills) : 他の人とうまくコミュニケーションができ、協力できる。不健全な場の空気に流されない。対立を建設的に解決する。他人に助けを求めたり、自分から他人を助けることができる。
- 適切な意思決定をする力 (responsible decision-making) : 自分の行動や、他人とのやり取りの中で、倫理的基準や安全性、社会的規範に基づいて、建設的な選択をすることができる。

この5つのカテゴリーに準じた社会性や感情の能力を総合的にサポートしていくのが SEL のプログラムです。SEL カリキュラムを学校に導入して、生徒の SEL を直接的にサポートする。

もともとある学校の教育プログラムに SEL の要素を取り入れて、生徒が日々の学校生活の中で効果的に社会性や感情の能力を身につけることができるようにする。

保護者や地域との連携の中で全体的に生徒の SEL をサポートしていく。それぞれの学校が様々な形で様々なレベルにおいて、SEL を教育の主要テーマに位置付けて、包括的に子供の社会性や感情の能力の発展をサポートしていこうとしています。それが現在のアメリカ教育における SEL のトレンドです。

研究SEL視察報告

令和7年9月24日

広島県府中町立府中緑が丘中学校

視察の目的

- ➡ ①SELという手法の構成や進め方を学ぶ
- ➡ ②年間のカリキュラムを拝見し、各授業の目的と時期との関連性や時数、短学活の活用法、時間の確保の工夫について学ぶ。
- ➡ ③SELに精通する福岡大学教授やその関連の方々とのネットワークを築く。
- ➡ ④SELの実践の積み重ねから、成果と課題を参考に、明海中学校のスタンダードを構築するための一助とする

SELを導入するに至った背景

▶ 2015年

生徒指導年間件数・・・153件

家庭の教育力が低く、協力も得られず困っていた



SELの存在を知り、福岡教育大学名誉教授

小泉礼三先生を訪問。SELの導入を決める。

⇒最初は生徒指導主任が自分のクラスでやり始める

⇒他の職員が興味を持ち、だんだん実施する職員が増える

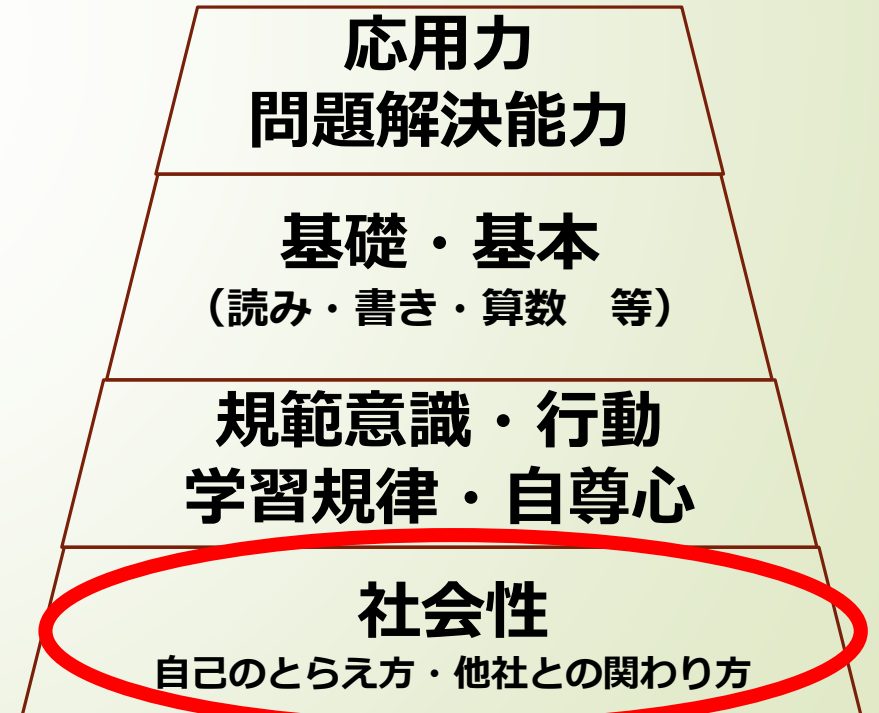
⇒学校全体でやろう！

府中緑が丘中学校のSEL実施の目的

- とにかく人とかかわる機会を意図的に増やし、SSTを中心に体験・経験をすること！
- 掲示物を作成し、SELで経験・学んだことを日常で実践できる機会を増やして定着！



**認知力・非認知力を向上させ、
社会性を育てる
⇒人間性の土台をつくる！**



SELを実施して見えた成果

表3 A 中学校校の生徒指導上の諸問題

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
問題行動発生件数 (件)	153	112	107	47	48	72	38	41	48	32
不登校	34	22	21	18	16	15	25	43	41	44

減少 ⇒ 安定

減少

増加 コロナ?

- ➡ 問題行動発生件数は3分の1以下に減少し、安定した。
- ➡ 不登校生徒も令和2年までは減少し、安定していた。

SEL実施を続けるための課題

その1 SELの時間の確保・誰でも授業できる体制

- ① 研究部会の中でSEL部会を兼ねて検討
- ② 決まった内容を担当職員が学年で検討・共有
- ② 学活・道徳の他に行事と関連させる取り組み
- ③ 単学活を用いてミニSELの実施

SEL実施をして見えた課題

その2 授業の質の安定と向上

- ① 毎年4月に校内研修実施、8月に小泉教授の講義
⇒ 職員入れ替えの対応とSEL授業の質の安定・向上
- ② 授業をお互いに見合い、意見交換をおこなっている



SEL実施をして見えた課題

その3 不登校生徒への対応

班活動・話し合い活動の充実

⇒ 今年度、解決に向けて取り組む

年間カリキュラム（年間実施計画） について

表 1 SEL-8S プログラムで育成を図る社会的能力

	能力	説明
基礎的社会的能力	自己への気づき	自分の感情に気づき，また自己の能力について現実的で根拠のある評価をする力
	他者への気づき	他者の感情を理解し，他者の立場に立つことができるとともに，多様な人がいることを認め，良好な関係をもつことができる力
	自己のコントロール	物事を適切に処理できるように情動をコントロールし，挫折や失敗を乗り越え，また妥協による一時的な満足にとどまることなく，目標を達成できるように一生懸命取り組む力
	対人関係	周囲の人との関係において情動を効果的に処理し，協力的で，必要ならば援助を得られるような健全で価値のある関係を築き，維持する力。ただし，悪い誘いは断り，意見が衝突しても解決策を探ることができるようにする力
	責任ある意思決定	関連する全ての要因と，いろいろな選択肢を選んだ場合に予想される結果を十分に考慮し，意思決定を行う。その際に，他者を尊重し，自己の決定については責任をもつ力
応用的社会的能力	生活上の問題防止のスキル	アルコール・タバコ・薬物乱用防止，病気とけがの予防，性教育の成果を含めた健全な家庭生活，身体活動プログラムを取り入れた運動の習慣化，暴力やけんかの回避，精神衛生の促進などに必要なスキル
	人生の重要事態に対処する能力	中学校・高校進学への対処，緊張緩和や葛藤解消の方法，支援を求め方（サポート源の知識，アクセス方法），家族内の大きな問題（例：両親の離婚や別居）や死別への対処などに関するスキル
	積極的，貢献的な奉仕活動	ボランティア精神の保持と育成，ボランティア活動（学級内，異学年間，地域社会での活動）への意欲と実践力

年間カリキュラム（年間実施計画） について

表 2 8つの社会的能力と学習領域の関係および各領域の主テーマ（中学校）

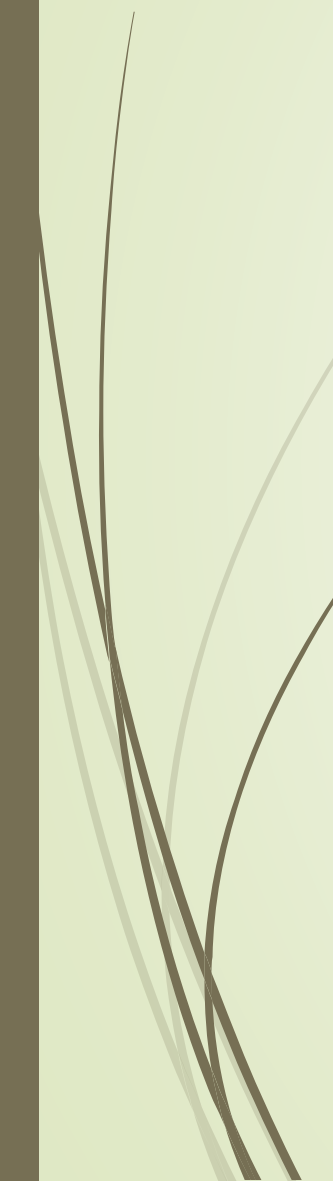
	学習領域 社会的能力	A 基本的生活習慣	B 自己・他者 へ の気づき, 聞く	C 伝える	D 関係づくり	E ストレスマネジ メント	F 問題防止	G 進路	H ボランティア
基礎的	自己への気づき	○	○		○	○		○	
	他者への気づき	○	○		○				○
	自己のコントロール	○	○	○		○	○		
	対人関係	○	○	○	○				
	責任ある意思決定			○			○	○	
応用的	生活上の問題防止 のスキル						○		
	人生の重要事態に 対処する能力							○	
	積極的, 貢献的な 奉仕活動								○
各学習領域の主テーマ		・あいさつ ・規範遵守	・自己理解 ・他者理解	・感情伝達 ・意思伝達	・協力関係 ・問題解決	・ストレス認知 ・ストレス対処	・万引き防止 ・喫煙防止	・自己理解 ・進路選択	・学校でのボラン ティア
							出所：小泉・山田（2011）（注）○は各学習領域 において育成を図る主要な社会的能力を表す。		

年間カリキュラム（年間実施計画） について

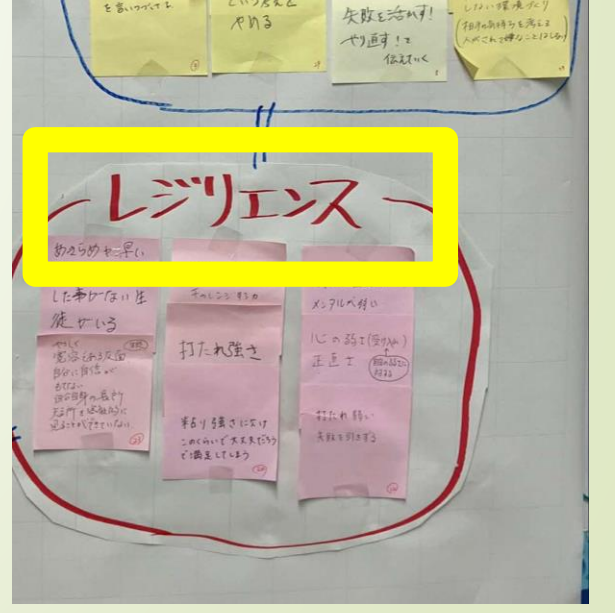
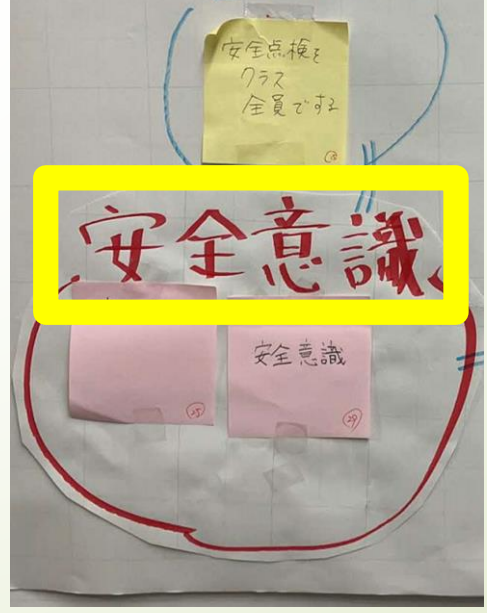
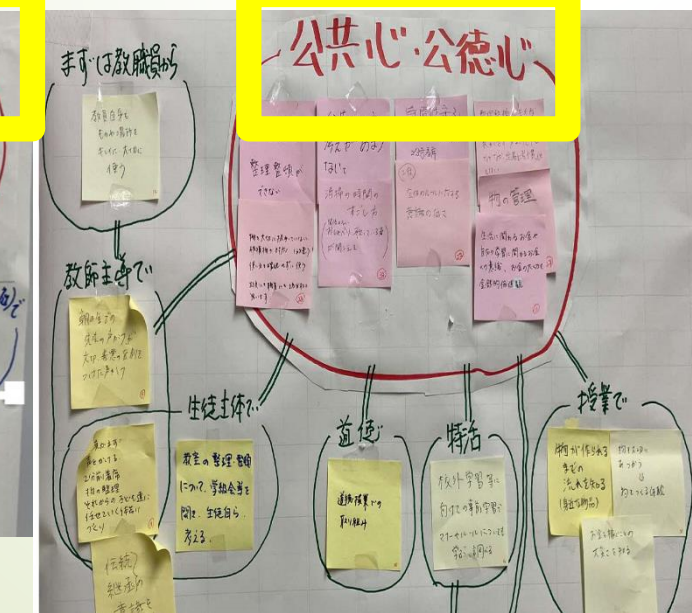
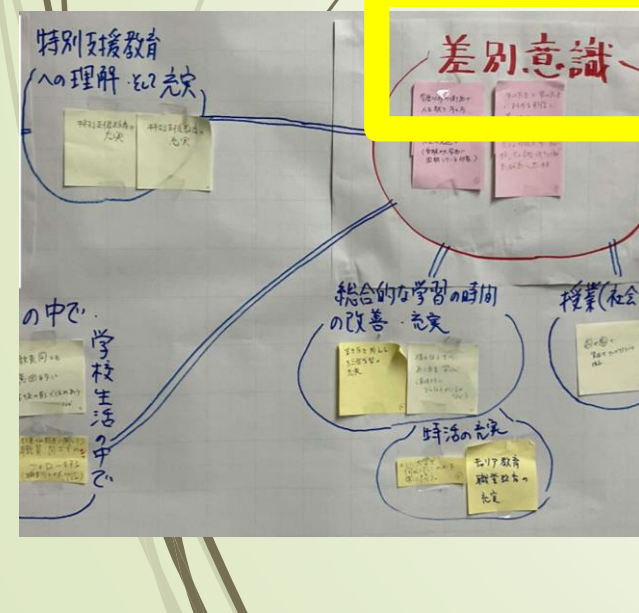
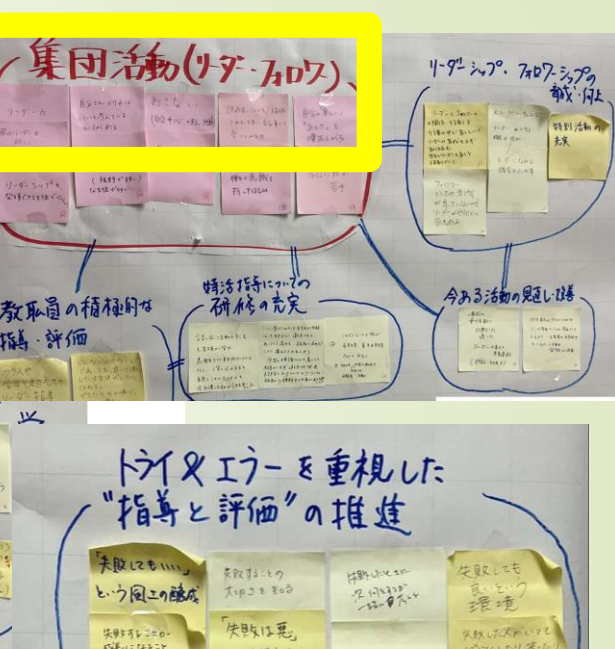
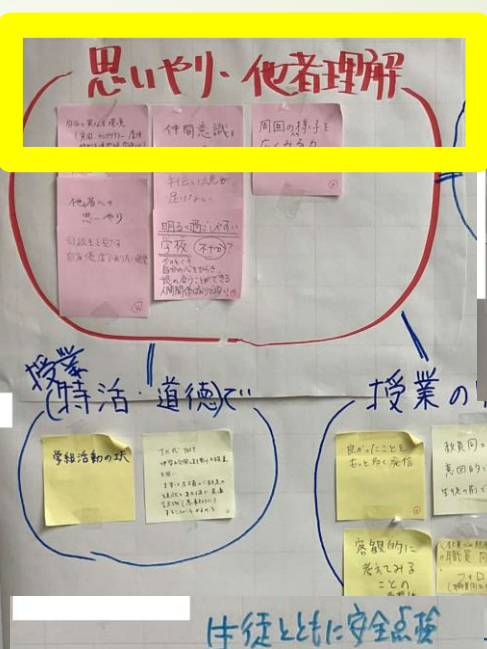
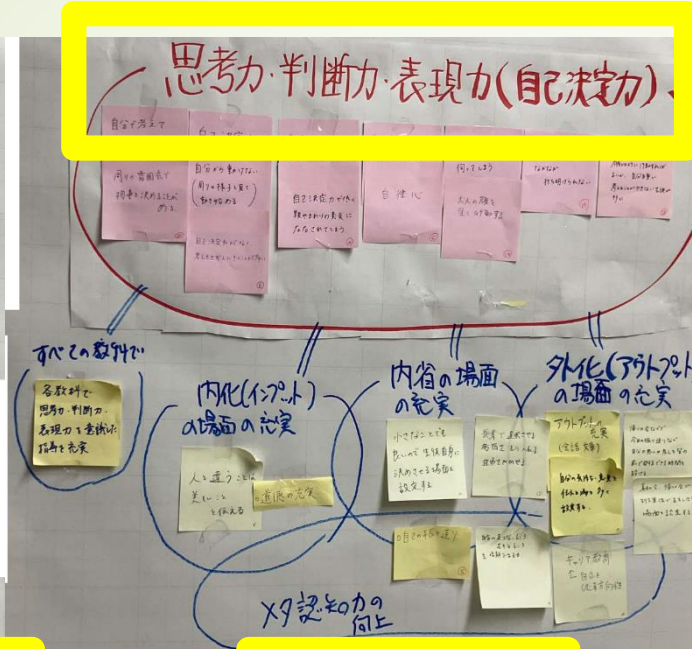
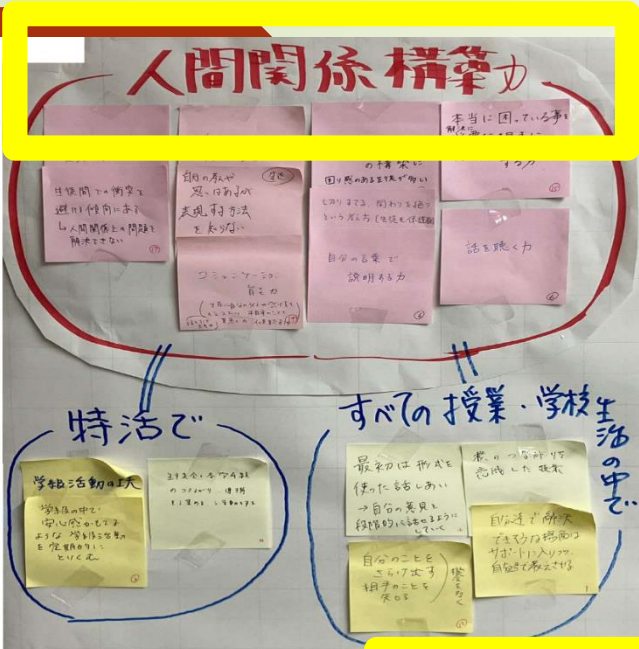
SELの授業は各学年、年間8回～12回行うと効果が大い！

	基本的な生活習慣	自己・他者への気付き	伝える	関係づくり	ストレスマネジメント	問題防止	ボランティア
5月	学級活動 「私たちの生活規則」	総合的な学習の時間 歴史の巡り				道徳 さまじりの意義「人に迷惑をかけなければいいのか？」	ボランティア活動 トイレをきれいに する集い
		道徳 広い心「殿さまのちゃ					
		学年行事準備のつどい				道徳 正しい異性理解 「アイツ」	ボランティア活動 町内一斉掃除 薬物乱用防止キャ
6月		学級活動 「“聞く”と“聴く”」	道徳 気持ちを伝える「半分おとな半分子ども」	道徳 差別を許さない「私もいじめた一人なのに…」			ンペーン
				総合的な学習の時間 里めぐり音類			
		学級活動 自分を見つめる 「1学期を振り返って」		道徳 友情「本当の友人関係とは」		学級活動 「ダメ！万引き」	
7月						学校行事 防犯教室	
						道徳 自主的な判断「アキラの選択」	
8月							ボランティア活動 クリーンキャンペーン 児童作品展 ちびっこ夏祭り

	基本的な生活習慣	自己・他者への気付き	伝える	関係づくり	ストレスマネジメント	問題防止	ボランティア
5月	<u>学級活動</u> 「私たちの生活規則」	<u>総合的な学習の時間</u> 史跡巡り				<u>道徳</u> きまりの意義「人に迷惑をかけなければいいのか？」	<u>ボランティア活動</u> トイレをきれいにする集い
6月	<u>学年行事</u> 夏のつどい					<u>道徳</u> 正しい異性理解「アイツ」	ボランティア活動町内一斉掃除 薬物乱用防止キャンペーン
		<u>学級活動</u> 「“聞く”と“聴く”」	<u>道徳</u> 気持ちを伝える「半分おとな半分子ども」	<u>道徳</u> 差別を許さない「私もじめた一人なのに…」	<u>総合的な学習の時間</u> 里めぐり音類		
7月		<u>学級活動</u> 自分を見つめる「1学期を振り返って」		<u>道徳</u> 友情「本当の友人関係とは」		<u>学級活動</u> 「ダメ！万引き」	
						<u>学校被害防止教室</u>	
						<u>道徳</u> 自主的な判断「アキラの選択」	
8月							ボランティア活動 クリーンキャンペーン 児童作品展 ちびっこ夏祭り



先生方が感じる明海中生の課題



SELと課題との関連

SELの狙い（Core 5 + 3）

- ➡ 1. 自己への気づき
 - ➡ 2. 他者への気づき
 - ➡ 3. 自己のコントロール
 - ➡ 4. 対人関係スキル
 - ➡ 5. 責任ある意思決定・・・・・・・・・・・・・自己決定力
 - ➡ 6. 生活上の問題防止のスキル・・・・・・・・安全意識
 - ➡ 7. 人生の重要事態に対処する能力・・レジリエンス
 - ➡ 8. 積極的、貢献的な奉仕活動・・・・公共心、公德心
- 人間関係構築、思いやり
他者理解、集団活動
リーダー・フォロワー

授業で得た知識や気づいたこと、感じたことを基
に普段の生活で実践し、振り返ることが大切！



教科の授業や朝の会、帰りの会など様々な場面で
掲示物を活用して思い出したり、実践しているか
を生徒に問えるように教員の意識を高く！

